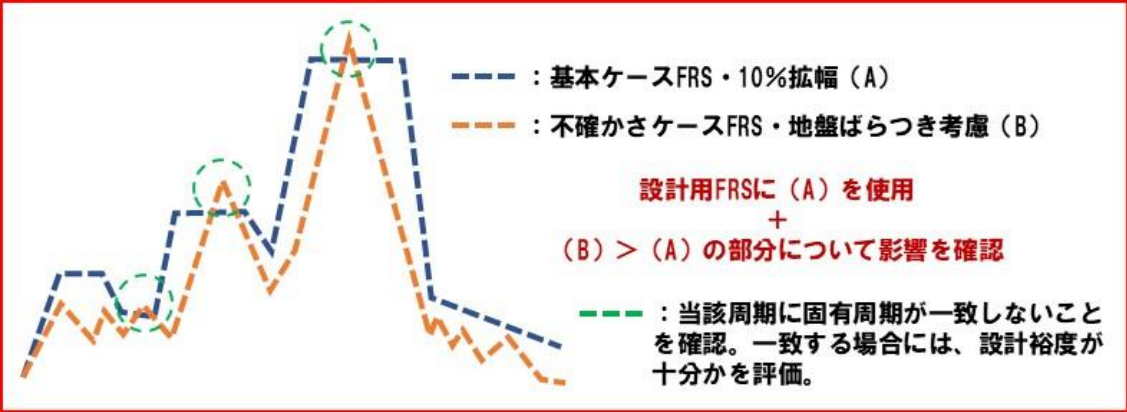


床応答スペクトル作成における地盤物性値のばらつきの考慮について

床応答スペクトル作成における地盤物性値のばらつきの考慮について、発電用原子炉施設の事例を調査し、以下の方法が適用されていることを確認した。「常陽」にあっては、当該方法を採用する。



上記の設計用 FRS に相当するものの作成は完了している。今後、早期に提示する。また、当該設計用 FRS を用いた機器・配管系等の代表的な耐震評価結果についても順次提示する。

不確かさケース FRS の作成には再計算が必要である。当該計算や影響確認にあっては、実力値ベースのパラメータ等を使用する（別途提示・協議）。当該パラメータ決定後、再計算等を実施する。

以上